

# 埼玉県議会は変わるのか



宗岡第二小学校の皆さんと荒川河川敷にある ふれあい田んぼで稲刈り

第三回定例会も終りましたが、今回は総選挙中という事もあり、各党各会派が忙しい中という事もあるか、おかしな政争も特に無く、調に議会も閉会いたしました。

「政務活動費の支出を証明する領収書のインターネット公開を求める」は継続審査

情報公開度  
ワースト一位

また、県民の方から提案された議請第四号「政務活動費の

各会派の代表者で行われる「代表者会議」は、通常、各定例会の初日と最終日に行われていたのですが、

議員の選挙でも議院

期「不採択」ならん事を

支那のインターネット公開を求め、私も

## 政務活動ビデオ(動画)を公開中!



★埼玉県政に関する身近な話題を動画で配信しております。

鈴木正人のホームページに動画も掲載しておりますので、どうぞご覧ください。  
ホームページアドレス <http://masato.trans.ne.jp/>

検索エンジン→ **鈴木正人** まで

# やまわらめか新聞

## 第93号

発行者 無所属県民会議 県議会議員鈴木正人 〒353-0002 志木市中宗岡1-1-2 TEL048-476-7525 FAX048-476-7526



不祥事があっても変わらない埼玉県議会の議会改革を街頭でも訴える

支那のインターネット公開を求め、私も

だのるけでう中4グ情ど

県政レポート2017 **suzuki masato** No.93  
 埼玉県議会議員 無所属県民会議  
**鈴木正人**  
 ホームページ <http://www.trans.ne.jp/masato/>

## 平成29年 第三回定例会を振り返って



一般国道和光富士見バイパスは、浦所バイパスとぶつかる下南畑交差点にて立体交差工事が進む。

平成29年第三回(9月)定例会は、議員提案による自転車損害保険への加入を義務付ける「県自転車の安全な利用促進に関する条例」や、一般国道254号和光富士見バイパス整備費用からの交付金の増額や歩道整備や交差点化改良に14億5,500万円や保育士のキャリアアップに向けた研修の実施に5,000万円など、平成29年度一般会計補正予算の16億4,800万円。

また、朝霞警察署の工事請負契約の締結(総合評価方式一般競争入札・工事金額は17億2千44万円)、ストーカー行為等の規制等に関する法律の一部改正を踏まえつきまとい行為等に係る規制対象の拡大及び違反行為に対する罰則を強化するとともに、規定の整備をする「埼玉県迷惑防止条例の一部を改正する条例」など、23議案が可決し閉会いたしました。

## 国道254号バイパスについて

9月定例会の一般会計補正予算では、一般国道254号和光富士見バイパスなどを含む幹線道路整備について、国からの交付金が予定よりも増額されました。

今後の用地交渉の進展次第で増額分の予算を早期整備に向かって有効に活用する事が出来ます。

また、国道254号バイパスの道路設計に関する住民説明会が行われ、現段階における道路詳細設計の内容について市民の皆様幅広く知っていただくとともに、ご意見を伺いました。

元となった詳細設計は、その前の段階で「国道254号バイパス道路詳細検討会」が三回開催され、近隣の町内会、小中学校PTA、保育園、商工会、農業団体、高齢者団体、行政(市)の皆様21名の方々に委員になっていただき、道路の基本的な構造である平面計画・縦断計画・横断計画・交差計画に加え、横断歩道橋や植栽、休憩施設等、幅広くご意見をいただいたものを設計に反映させていただいております。

こうした住民の皆様の声をしっかり受け止め、埼玉県としては、最終的な詳細設計を決め、浦所バイパスと交差する下南畑交差点の立体交差工事から整備を進め、用地買収が出来た所から順次整備する予定との事であり、住民の声を大切にしながら、早期整備に向けて今後も努力していきたいと思っております。



## 和舟「いろは丸」進水

埼玉県による「川の国さいたまはつらつプラン」によって、現在「いろは親水公園」内にある船着き場の対岸側にも平成32年までには新たな船着き場が整備されるなど、親水公園がパワーアップされる予定ですが、それに先立ち、いろは親水公園の船着き場に和舟の「いろは丸」が見事に進水されました。

「いろは丸」は志木市が独自に購入したもので、早速乗船させて頂きましたが、船頭さんによる新河岸川舟歌を歌いながらの船頭ぶりは非常に乗り応えがあり、新たな志木の観光スポットとして手応えを感じたところであります

尚、「川の国さいたまはつらつプラン」による親水公園のパワーアップ改修は、本年度より新河岸川の宗岡側堤外を広場として活用する工事からスタートする予定です。

来年度の予算要望を上田知事へ提出



志木市の予算要望内容

- ◆平成30年度 地元予算要望 (志木市)  
(※要望ですので実現出来ないものもあります)
- 町内会等地域活動団体が行う「防犯カメラの設置事業」に対する県による補助制度の新設
  - 民間保育園のAED設置に係る補助の新設
  - 一般国道254号和光富士見バイパス建設促進
  - 県施行街路事業(都市計画道路中央通停車場線)の促進
  - 県道さいたま東村山線交差点整備事業の早期完成
  - 柳瀬川(英橋下流から新河岸川合流まで)の河川水位の上昇を防止するための定期的な河道掘削の実施
  - 県施行街路樹事業である、都市計画道路中央通停車場線(本町通り)の残り第3工区310mについて予定地域の街路整備事業工事の早期着手
  - 真冬時の防寒対策の為、県道さいたま東村山線の浦和方面に向かう秋ヶ瀬橋バス停周辺の秋ヶ瀬橋上流側に防風柵の設置
  - 志木市中宗岡 1-12 柳下木材脇の歩道狭小部分の歩道拡幅
  - 県道川越・新座線 志木大通り 志木市本町 1-15 56-10 付近の歩道拡幅
  - 志木市上宗岡 3-1 寿司一休脇への押しボタン信号の設置
  - 志木市上宗岡 1-8-41 袋橋通りへの押しボタン信号の設置
  - 志木市中宗岡 2-26-4 押しボタン信号の設置
  - 志木市本町 4-14 大原交差点 点滅式歩行者用信号の設置
  - 志木市下宗岡 3-13-8 コインランドリー前の横断歩道に押しボタン信号の設置
  - 志木市上宗岡 4-23-12 あきはね通りへの横断歩道設置

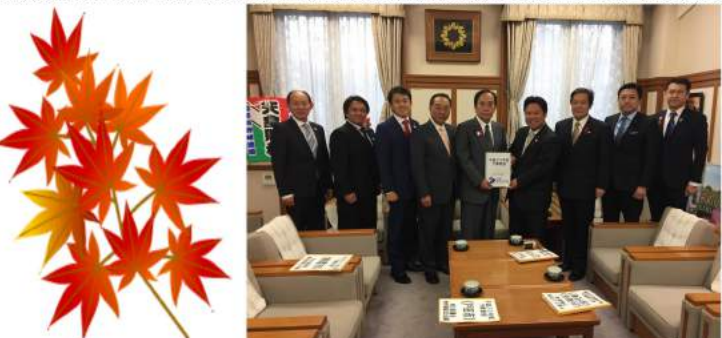
県政全般の予算要望

- ◆平成30年度 予算要望 (県政全体)  
※主なもの 全体では合計506項目
- ▼企画財政部関係
- 県立施設、出資法人等への補助金見直しと整理縮減、人員削減等の改革推進
  - 適正な受益者負担の考えに則り、補助金等各種事業への公金支出の在り方の徹底検証
  - 市町村の実情をふまえたより質の高い権限移譲と人材・財源支援の推進
- ▼総務部関係
- 悪質な高額滞納者を中心とした徴税対策の徹底と徴収率の向上及び市町村の徴税業務の支援
  - 建設工事に係る入札参加資格審査の格付けにおいて、地域ボランティアやインターンシップの受け入れ、環境への配慮等を加点するなど、企業の様々な取組を積極的に評価する仕組みの推進
  - 県有施設への植栽・緑化の積極的な推進

- ▼県民生活部関係
- 団体希望寄付金制度の県民への周知強化による基金登録団体及び寄付額の増加
  - 自立したNPO活動をサポートするための支援体制や補助金制度の充実
  - 県事業のNPOへの業務委託・協働の拡大及び市町村の協働の推進
  - ユニークな番組コンテンツの作成など県広報番組の充実
  - 北朝鮮による日本人拉致問題・人権侵害問題に対する県民意識のさらなる啓発事業の推進

- ▼教育局関係
- 小中高生への自然・社会体験活動の拡大
  - 県内すべての子供達が、地域の伝統芸能を総合的な学習の時間や課外活動を活用し、授業等を通じてふれあい親しみ学べる場づくりの徹底
  - 我が国や郷土に誇りをもてるよう事実に基づいた正しい歴史教育の推進
  - 先人を敬う心と規律ある態度を育む道徳教育の推進
  - いじめ・不登校対策充実事業(学校教育に係る市町村総合助成事業)の中学校配置相談員助成

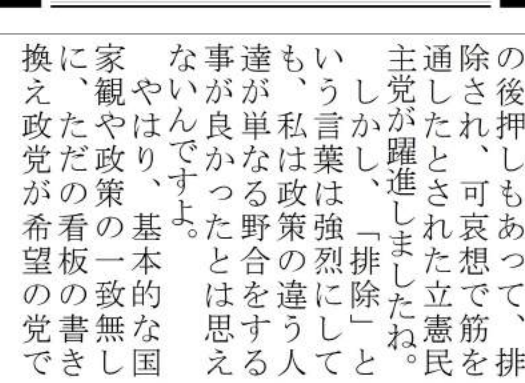
要望した506項目は無所属県民会議に掲載



不法な建物や畑で占有される荒川河川敷



火事で焼けた不法建物も



二月定例会の代表質問で、「河川敷の不法行為対策について」取り上げさせていただいたんで、河川敷に不法に建物を建てたり、勝手に畑を作ったり、迷惑なもので、しっかりとルールをつくって何度警告しても従わなければ、行政執行などの厳しい対応を取るべきだと思いますよ。

埼玉県としては、只今しっかりとしたルール作成中の事ですが、我が地元の志木市の荒川河川敷は、実は国土交通省の管轄で、警備は警備隊が担当しています。荒川河川敷には、不法な建物や畑が建てられており、火事で焼けた建物も残骸が散らばっています。

解散総選挙が

終わって

さて、怒涛の流れの中で行われた衆議院選挙が準備不足の中、解散を仕掛けた安倍総理でしたが、希望の党結成で想定外の展開になるかと思いきや、いよいよ小池都知事の「排除発言」以降は、「排除発言」以降は、メディアの批判の矛先は「大義なき」解散の安倍総理から、「排除」を言い出した小池都知事に変わっていったので、最後は当初の安倍総理の狙い通り、与党は三分の二を超える圧勝で終わりましたね。

影響力のある

ワイドショー

立憲民主党の人達も当初は希望の党に入れたんですけど、テレビのワイドショーなど主要メディアは、「排除」が余程お気に召さなかったよう、立憲民主党の人達は可哀想で筋が通っていない新たなヒーローになりました。

小池さんは都議選で勝利した改革のヒーローから、独善的な悪役としてバッシングされ、今やジャンヌダルクの最後、火あぶりの刑状態になっておりますね。

お蔭で希望の党の支持率はみるみるうちに急降下。

一方で立憲民主党は日本人独特の判官びいきもあってか大躍進。

またまた、ワイドショーの影響力の凄さを実感いたしました。

いわゆるワイドショー政治の中で、現政権を交代させるにあたって、自稱リベラルの排除はメディアとしては、絶対にして許せない事だったんでしようね。

保守二大政党などとなれば、憲法改正が早まってしまうからとんでもない事のように、かつての自民党対社会党のような五十五年体制に、むしろメディアの人達がさせたいのだと痛感いたしましたよ。

野党側のゴタゴタや、昨今の株価上昇や雇用の改善、外交などに実績もあり、安全保障面でも野党に比べればしっかりやってくれそうな、安倍総理を中心とした与党が信任されるのも当然の流れであったとも言えますね。

ただ、実際は国難突破選挙とも言われた割には、具体的に各政党がどう北朝鮮有事に対処して対応するのか、安全保障は今ままの対応から変わっていくのか、米追従だけで良いのか、与党は消費税を上げるというが、そもそも危機的な財政状況なのか、株価上昇や雇用の状況

「昔から楽しんで

河川敷の不法行為につ

河川敷の不法行為については埼玉県議会でも取り上げられています。今年2月の県議会では行政の対応についてたまたま錦木正人議員(無所属県民会議)は「公共の土地が勝手に畑や建物で占有されるのは、千原市の花見川などでも起きている。この際も中国人が耕作した土地が含まれていたと聞く。行政は一定のルールを定め、強制的に原状回復させるようにすべき」と述べました。